

、事業の実施に関する業務

年間事業計画

(1) 展覧会事業

3館共同特別企画展(新潟、東京、奈良)

平城遷都1300年記念「奈良の古寺と仏像～會津八一のうたにのせて～」

関連企画展 會津八一の「生涯をたどる」

平成22年4月24日(土)～6月6日(日)41日間

特別展 會津八一記念館開館35周年記念

「會津八一 人生の書 - 手紙で読む生涯と交友」(仮称)

平成22年9月11日(土)～11月23日(日)66日間

企画展

・「私が選んだ八一の書(著名人編)」

平成22年6月19日(土)～9月5日(日)68日間

・「題字の美～八一のブックワールド～」

～併設 第4回写真コンテスト入賞入選作品～

平成22年12月14日(火)～平成23年3月27日(日)78日間

(2) イベント事業(書籍、常設展、特別展PR)

「會津八一の歌を映す」第4回秋草道人賞写真コンテスト

記念館刊行の書籍「會津八一 悠久の五十首」より選別した7首の短歌を課題歌として歌の心象風景を反映した写真を広く全国に向け公募する。写真を通じて會津八一の業績を普及し、文学と映像との融合に挑戦。授賞式も実施。

「奈良の古寺と仏像」展の関連講演会(新潟日報と共催)

・4月17日(講師 神林恒道館長)

・5月15日(講師 神林恒道館長)

・6月5日(講師 神林恒道館長)

八一祭記念講演会

8月3日(講師 有馬頼底師・金閣寺住職)

特別展記念講演会

第1回 日時、テーマ未定(講師 小池邦夫氏・絵手紙協会会長)

第2回 日時、講師未定

(3) 書籍、ビデオ、DVDを持参した学校・公民館等への出前講座

新潟市内外の公民館、生涯学習団体等、教職員グループから要請が少しずつ増加しており、依頼のあるところから実施する。

(4) 関連博物館との連携強化

まず仏像展の関連展示活動で、新潟市美術館との連携を実施する。また、仏像展と連動し北方文化博物館新潟分館も八一展を実施することから、相互に連携した案内を実施。文化ゾーン西大畑の活性化のため、「風の館(坂口安吾記念室)への誘客にも協力する。また八一のような文人を顕彰する県内各地の記念館と情報交換をして協力体制ができる土壌をつくっていく。

(5) その他の事業

学習講座、鑑定会などの実施

、施設運営に関する業務

(1) 平成 22 年度目標

観客者数 79,000人

観覧料収入 3,000,000円

(2) 人材育成

上部団体も研修会に積極的に派遣する

休館中には奈良を中心に八一の足跡を訪ねる研修に参加する

他館の学芸員との交流の推進

(3) ホームページの活用

展示やイベント、講座などの行事を随時発信する。また学芸員のブログを毎週更新し、館内外の活動や様子、感想を親しみやすく発信する。

(4) 収蔵品の整理

ボランティアによる書簡6000通の解読と整理の継続

八一作品のデジタル画像データをデータベース化へ準備を継続

、その他

(1) 自己評価

入館者アンケートの継続実施

月間入館者数の統計による企画の点検

館長講演会、各種講演会、講座の参加数及び反応による点検